Panasonic®

取扱説明書 基本ガイド

ワイヤレスプレゼンテーションシステム 業務用

品番

TY-WPS2
WPS 基本セット

TY-WPB2
WPS 送信機

TY-WPR2
WPS 受信機

TY-WPSC2
WPS USB-C 基本セット

TY-WPBC2
WPS USB-C 送信機

* WPS とは「Wireless Presentation System」の略称です。

PressIT

保証書付き

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」（2 ～ 7 ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- この取扱説明書は、TY-WPS2、TY-WPSC2、TY-WPB2、TY-WPBC2、TY-WPR2 共用です。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。
  お買い上げの際は、製品本体の製造番号をお確かめください。

日本語

安全上のご注意	2
本体・付属品の確認	8
各部の名称	9
接続	11
基本的な使い方	13
送信機の接続を固定する	16
送信機の増設方法（ペアリング）	17
受信機の設置方法	18
本機の無線機能について	20
セキュリティーに関するお願い	21
保証とアフターサービス	23
仕様	25
保証書	裏表紙

台湾印刷

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

🛇	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

異常・故障時は直ちに使用を中止してください

異常があったときは電源プラグを抜いてください

- 煙が出たり、異常な臭いや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水などの液体や異物が入った
- 本機に変形や破損した部分がある

電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

- 電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
- 本機を電源から完全に遮断するには、電源プラグを抜く必要があります。
- お客様による修理は危険ですから、おやめください。
- 電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントをご使用ください。

⚠ 警告

異物を入れないでください

通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

火災・感電の原因となります。
● 特にお子様にはご注意ください。

AC アダプターについて

AC アダプターや AC アダプターケーブルは本機に付属のもの以外は使用しないでください

付属以外の AC アダプターや AC アダプターケーブルを使用すると、ショートや発熱により、感電・火災の原因になることがあります。

電源プラグにほこりがたまらないよう、定期的に掃除をしてください

湿気などでショートし火災・感電の原因となります。
● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください

感電の原因となります。

ぬれ手禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 ～ 240 V 以外では使用しないでください

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱により火災の原因となります。

電源プラグは、根元まで確実に差し込んでください

差し込みが不完全であると、感電や発熱による火災の原因になります。
● 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントのまま使用しないでください。

⚠ 警告

AC アダプターについて（つづき）

AC アダプターや電源プラグを破損するようなことはしないでください

（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねる など）

ショート、断線により火災・感電の原因となります。

- AC アダプターや電源プラグの修理は、販売店にご依頼ください。

心臓ペースメーカーの装着部位から 15cm 以上離して使用してください

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

航空機内で使用しないでください

運航の安全に支障をきたす恐れがあります。

自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くで使用しないでください

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

病院内や医療機器のある場所では使用しないでください

本機からの電波が医療機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

長時間触れて使用しないでください

本機や AC アダプターの温度の高い部分に長時間触れていると、低温やけど * の原因になります。

* 血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人（高齢者）などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

⚠ 警告

雷が鳴りだしたら本機や AC アダプターには触れないでください

接触禁止

感電の原因となります。

ぬらしたりしないでください

水ぬれ禁止

火災・感電の原因となります。

不安定な場所に置かないでください

ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。

裏ぶた（キャビネット）を外したり、改造したりしないでください

分解禁止

受信機に付属のねじは乳幼児の手の届くところに置かないでください

誤って飲み込む恐れがあります。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

設置工事や取り付けは、工事専門業者または販売店にご依頼ください

工事や取り付けが不完全ですと、落下事故の原因となります。

使用中は送信機の底面に触れないでください

使用中や使用後しばらくは、送信機の底面が熱くなることがありますので、やけどの原因になります。
また、熱に弱い物の上に置かないでください。変形や変色の原因となります。

⚠ 注意

本機の通風孔をふさがないでください
風通しの悪い狭い所に押し込まないでください

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

本機の上に重いものを載せないください

火災や故障の原因となることがあります。

温度の高い所、湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所（調理台や加湿器のそばなど）に置かないでください

火災・感電の原因となることがあります。

接続ケーブルを取り外すときは、必ずコネクター部を持って抜いてください

コードを引っ張ると、コードが破損し、感電・ショートによる火災の原因となることがあります。

移動させる場合は、機器の接続ケーブルを外してください

コードや本機が破損し、火災・感電の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください

電源プラグを抜く

電源プラグにほこりがたまり火災・感電の原因となることがあります。

⚠ 注意

**接続ケーブルを引っ張ったり、ひっかけたり
しないでください**

倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。

- 特に、お子様にはご注意ください。

お手入れについて

**お手入れの際は、安全のため電源プラグを
コンセントから抜いてください**

電源プラグを抜く

感電の原因となることがあります。

本体・付属品の確認

以下の本体・付属品が入っていることを確認してください。

WPS 基本セット　TY-WPS2

● 本体

WPS 受信機
(TY-WPR2) 1

WPS 送信機
(TY-WPB2) 2

● 付属品

AC アダプター
(DPVF4970ZA/X1)... 1
(変換プラグ 3 個を含む)

AC アダプターケーブル
(DPVF4960ZA/X1)...1

HDMI ケーブル
(DPVF4971ZA/X1)... 1

USB 延長ケーブル
(DPVF3513ZA/X1)... 2

受信機取付金具
(18 ページを参照).... 1

送信機ケース
(DPVF5002ZA/X1)... 1

WPS USB-C 基本セット　TY-WPSC2

● 本体

WPS 受信機
(TY-WPR2) 1

WPS USB-C 送信機
(TY-WPBC2) 2

● 付属品

AC アダプター
(DPVF4970ZA/X1)... 1
(変換プラグ 3 個を含む)

AC アダプターケーブル
(DPVF4960ZA/X1)... 1

HDMI ケーブル
(DPVF4971ZA/X1)... 1

ペアリング用
変換アダプター
(DPVF3516ZA/X1)... 1

受信機取付金具
(18 ページを参照).... 1

送信機ケース
(DPVF5002ZA/X1)... 1

WPS 送信機　TY-WPB2

● 本体

WPS 送信機
(TY-WPB2) 1

● 付属品

USB 延長ケーブル
(DPVF3513ZA/X1)... 1

WPS USB-C 送信機　TY-WPBC2

● 本体

WPS USB-C 送信機
(TY-WPBC2) 1

● 付属品

ペアリング用変換
アダプター
(DPVF3516ZA/X1)... 1

WPS 受信機　TY-WPR2

● 本体

WPS 受信機
(TY-WPR2) 1

● 付属品

AC アダプター
(DPVF4970ZA/X1)... 1
(変換プラグ 3 個を含む)

AC アダプターケーブル
(DPVF4960ZA/X1)... 1

HDMI ケーブル
(DPVF4971ZA/X1)... 1

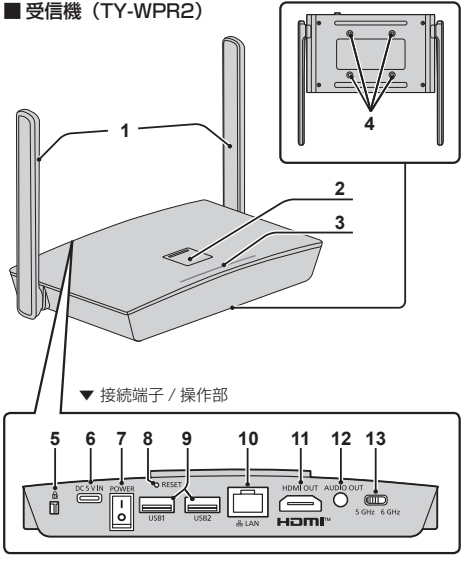
受信機取付金具
(18 ページを参照).... 1

お願い

- 乳幼児の手の届かないところに、適切に保管してください。
- 付属品の品番は予告なく変更する場合があります。
  (上記品番と実物の品番が異なる場合があります。)
- 付属品を紛失された場合は、お買い上げの販売店へご注文ください。(サービスルート扱い)
- 包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理してください。

各部の名称

■ 受信機（TY-WPR2）



1 アンテナ

2 FUNCTION ボタン / LED
機器の状態の表示や、遠隔ペアリング機能のときに使用します。

3 インジケーター
電源の状態や LAN、USB の接続の状態を表示します。

4 取付金具用ねじ穴（☞ 18 ページ）
取付金具に取り付ける場合に使用します。

▼ 接続端子 / 操作部

5 セキュリティースロット
Noble Wedge スロットと互換性があります。

6 電源入力端子

7 電源スイッチ
受信機の電源を入（ I ）/ 切（○）します。

8 リセットボタン
本機を工場出荷時の状態に戻します。

9 USB 端子（Type-A）
ペアリングするときに送信機を接続します。

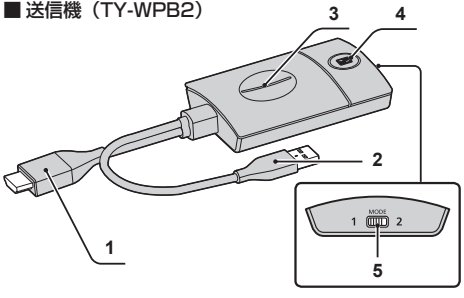
10 LAN 端子（RJ45）
ネットワークに接続して本機の設定を変更します。

11 HDMI 出力端子
HDMI 入力がある映像機器を接続します。

12 音声出力端子
外部スピーカーなどを接続します。

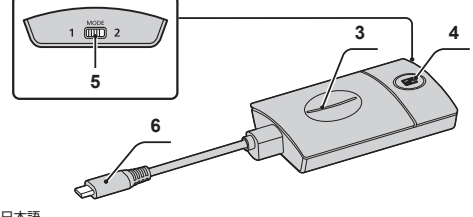
13 無線帯域切り替えスイッチ（☞ 14 ページ）
使用する帯域（5 GHz、6 GHz）に応じて切り替えます。

■ 送信機（TY-WPB2）



1	**HDMI 入力端子** HDMI 出力がある映像機器に接続します。
2	**USB 端子（Type-A）** USB 給電機器に接続します。
3	**メインボタン / LED** 映像表示の ON/OFF を切り換えます。
4	**サブボタン / LED** マルチ画面モードに切り換えます。
5	**モードスイッチ** 通常は「1」で使用してください。 将来のソフトウェアのバージョンアップで利用可能になる場合があります。詳しくは、取扱説明書「詳細編」をご確認ください。
6	**USB 端子（Type-C）** USB Type-C 出力がある映像機器に接続します。

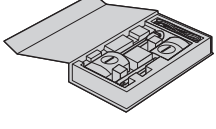
■ USB-C 送信機（TY-WPBC2）



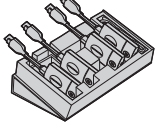
■ 送信機ケース

送信機 2 台（最大 4 台）と USB 延長ケーブルを収納できます。

<2 台置き >



<4 台置き >



接続

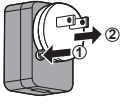
接続の前に、本システムと接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
各機器の電源を切ってからケーブルを接続してください。

受信機の接続

1 受信機に給電用の AC アダプターと AC アダプターケーブルを接続します。

▶ **コンセントの形状に適合した AC アダプター変換プラグをご使用ください。**

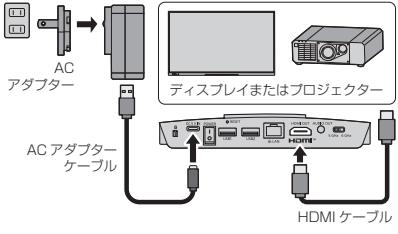
＜外し方＞　①ボタンを押して ②外す



お知らせ

- コンセントに接続した状態で AC アダプター変換プラグを外さないでください。

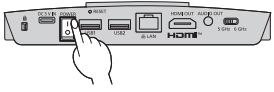
2 ディスプレイやプロジェクターなどの表示機器と受信機を HDMI ケーブルで接続します。



お知らせ

- 受信機への給電には付属品の AC アダプターまたは 5 V/2 A の USB 給電機器を使用してください。

3 **受信機の電源スイッチを「I」側に倒して電源を入れます。表示機器に待機画面が表示されたら、受信機側の準備は完了です。**

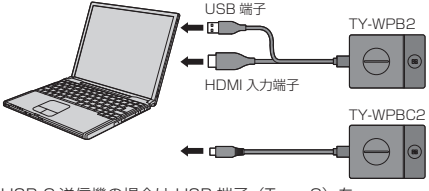


待機画面

送信機の接続

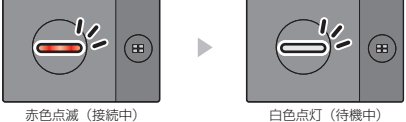
1 **送信機の USB 端子と HDMI 入力端子を映像出力機器に接続します。**

- 送信機への給電には 5 V/0.9 A の電源が必要です。



USB-C 送信機の場合は USB 端子（Type-C）を映像出力機器に接続します。

2 **メイン LED は赤色点滅 (接続中) → 白色点灯 (待機中) に変わります。**



赤色点滅（接続中）　白色点灯（待機中）

基本的な使い方

シングル接続

1 台の送信機を使用して映像表示する場合について説明します。

1 待機画面のときに、送信機のメインボタンを押す。

映像が表示されます。

待機画面

全画面表示

白色点灯（待機中）

緑色点灯（表示中）

もう一度メインボタンを押すとメイン LED は白色に変わり、待機状態に戻ります。

(画面も待機画面に戻ります。)

- 複数の送信機を使用した場合は、メインボタンを押した送信機の映像に切り換わります。

マルチ接続

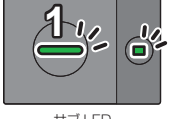
複数の送信機を使用して映像を同時に表示する場合について説明します。
最大で 4 台の送信機の映像を同時に表示することができます。

1 全画面表示のときに、送信機のサブボタンを 1 秒以上押す。

サブ LED は緑色点灯に変わり、マルチ画面モードになります。

全画面表示

サブ LED
消灯



サブ LED
緑色点灯
（マルチ画面モード）

2 映像を追加する送信機のメインボタンを押す。

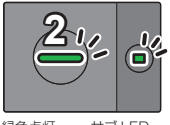
映像が追加されます。

全画面表示

マルチ画面表示

白色点灯
（待機中）

サブ LED
緑色点灯



緑色点灯

サブ LED
緑色点灯

マルチ画面モードの解除

送信機のサブボタンを 1 秒以上押す。

- サブ LED は緑色点灯から消灯に変わり、マルチ画面モードは解除されます。

本機が使用する周波数帯の特性と切り替えについて

- 本機には送信機と受信機をつなぐ周波数帯を切り替える機能があります。
  5 GHz 帯を使用するモード：5G モード
  6 GHz 帯を使用するモード：6G モード
- 切り替えは受信機の無線帯域切り替えスイッチ（☞ 9 ページ）もしくは Web 設定ページから行えます。
- 6G モードであってもその他の周波数の電波が出力されている場合があります。
- 5G/6G モードの切り替えを行うと送信機とのペアリングが必要になります。

お知らせ

- モードの切り替えを行っても送信機とのペアリングを行わなければ、元のモードでのペアリングが保持されています。
- 6G モードでは映像 / 音声の乱れや途切れがなく使用できる範囲が 5G モードに比べて狭くなります。
- 特に 6G モードの使用時には、送信機と受信機の間に遮蔽物があると伝送能力が落ちることがあります。特に 6G モードを使用する場合は、受信機のアンテナが送信機から見えるように設置してください。
  以下の場合は特に気を付けてください。
  - ディスプレイの裏などに設置するとき
  - 天井から吊り下げて設置したプロジェクターのそばに設置するとき
  - ラックの中に設置するとき

お知らせ

- 詳しくは取扱説明書「詳細編」をお読みください。

詳しい使用方法について

詳しい使用方法については取扱説明書「詳細編」を
お読みください。
取扱説明書「詳細編」は下記の URL からダウンロードして
ください。
(https://biz.panasonic.com/jp-ja/pressit_resources)

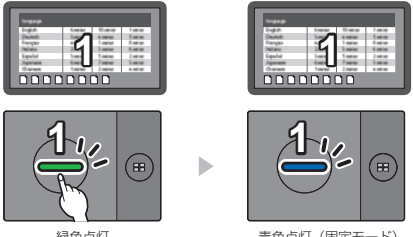
送信機の接続を固定する

複数の送信機をペアリングして使用している状態で、1 台の送信機のみを受信機に接続し、他の送信機に切り換えられないように設定できます。
この設定により、送信機切り換えの誤操作を防ぐことができます。

固定モードの設定

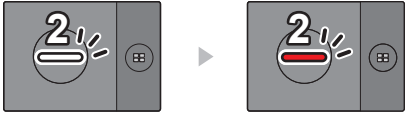
1 台の送信機の映像を表示している状態で送信機のメインボタンを 1 秒以上押す。

メイン LED は緑色の点灯→青色点灯に変わり、固定モードに入ります。



緑色点灯　　青色点灯（固定モード）

その他の送信機

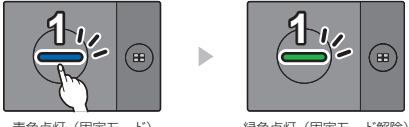


白色点灯（待機中）　　赤色点灯（操作不可）

固定モードの解除

送信機のメインボタンを 1 秒以上押す。

メイン LED は青色点灯→緑色点灯に変わり、固定モードは解除されます。



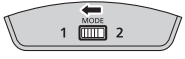
青色点灯（固定モード）　　緑色点灯（固定モード解除）

送信機の増設方法（ペアリング）

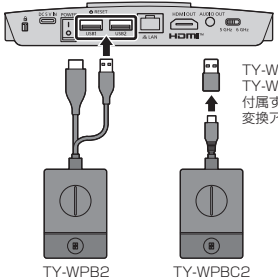
TY-WPS2 基本セット / TY-WPSC2 基本セットは
それぞれペアリング設定済みです。

受信機と送信機を接続してペアリングする

1 **モードスイッチを「1」側にする。**



2 **送信機の USB 端子を受信機の USB 端子に接続する。**



しばらく待つと受信機の LED が白色に点滅し、自動的に
ペアリングが開始されます。
待機画面に「Pairing...」（ペアリング中）と表示されます。

3 **ペアリング完了**

「Pairing OK」と表示され、受信機の LED が白色に
点灯します。

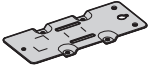
4 **送信機の USB ケーブルを受信機から外す。**

受信機の設置方法

受信機取付金具の構成部品

以下の部品が入っていることを確認してください。

ベース金具（A）……1
（DPVF3503ZA/X1）



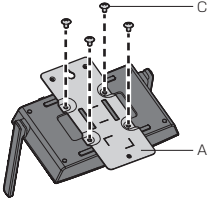
シート（B）……2
（DPVF3508ZA/X1）
（24 × 20 mm）

ねじ（C）……4
（DPVF3510ZA/X1）
（M4 × 5）

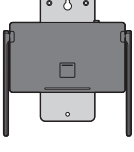
天井や壁面への取り付け

1 受信機底面のねじ穴４ヵ所に合わせて
ベース金具（A）を置く。

2 ベース金具（A）をねじ（C）４本で固定する。

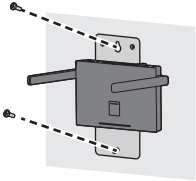


ベース金具は下図のように取り付けてください。



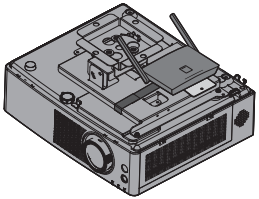
3 **ねじ 2 本で受信機を天井や壁面に固定する。**

取り付ける天井や壁面の状態によって、適切な種類や長さのねじ（市販品）を使用してください。（推奨サイズ：M4）



プロジェクター本体への取り付け

受信機はプロジェクター本体に取り付けることができます。



詳しい取り付け方法については取扱説明書「詳細編」をお読みください。
取扱説明書「詳細編」は下記の URL からダウンロードしてください。
(https://biz.panasonic.com/jp-ja/pressit_resources)

本機の無線機能について

本機の無線機能は、2.4 GHz/5 GHz (W52)/6 GHz 帯域の電波を使用します。
下記の内容を十分理解してご使用ください。

ほかの無線機器の近くで使用しないでください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の発射を停止したうえ、パナソニック 業務用ディスプレイサポートセンターにご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、パナソニック 業務用ディスプレイサポートセンターへお問い合わせください。

本機は、屋内で使用してください。

- 本機は 5 GHz 帯（W52）および 6 GHz 帯を使用する無線装置です。屋外で使用することは、電波法で禁止されています。

本機の近くでは、携帯電話・テレビ・ラジオをできるだけ使用しないでください。

- 携帯電話・テレビ・ラジオなどは、本機と違う帯域の電波を使用しておりますので、無線 LAN の通信や、これらの機器の送受信には影響ありません。しかし、本機からの電波により、音声や映像にノイズが発生することがあります。

鉄筋・金属・コンクリートなどは、無線 LAN 通信の電波を通しません。

- 木材やガラス（金属メッシュ入りガラスを除く）などの壁や床を通して通信することはできますが、鉄筋・金属・コンクリートなどの壁や床を通して通信することはできません。

放送局や無線機からの強い電波により、正常に動作しない場合があります。

- 近くに強い電波を発生する設備や機器がある場合は、それらの機器から十分に離して設置してください。

国外での取り扱いについて

- 本機は、お買い求めの国または地域からの持ち出しが禁止されていますので、お買い求めの国または地域でのみ使用してください。また、無線 LAN を使用できるチャンネルや周波数は国や地域により制限があります。

インターネットへの接続について

● 本製品は電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダ等）の通信回線（公衆 LAN を含む）に直接接続することができません。本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルーター等を経由してください。

2.4 DS/OF 4

この機器が、2.4 GHz 周波数帯（2400 から 2483.5 GHz）を利用する直接拡散（DS）方式 / 直交周波数分割変調（OF）の無線装置で、干渉距離が約 40 m であることを意味します。

本機をご使用になる場合、次のような被害に遭うことが想定されます。

● 本機を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい
● 悪意の第三者による本機の不正操作
● 悪意の第三者による本機の妨害や停止

セキュリティー対策を十分に行ってください。

無線 LAN 製品ご使用時における セキュリティーに関するご注意

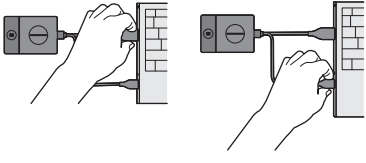
● 無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してコンピューター等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。
  - 通信内容を盗み見られる
    悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
  - 不正に侵入される
    悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏えい）

特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

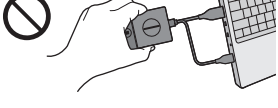
- 本来、無線 LAN アダプターや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティーの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティーに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。
- 無線 LAN 機器は、購入直後の状態においては、セキュリティーに関する設定が行われていない場合があります。セキュリティー問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN 機器をご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティーに関するすべての設定を、各々の無線 LAN 機器の取扱説明書に従って行ってください。
なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティー設定が破られることもあり得ますので、ご理解のうえ、ご使用ください。
本機を無線 LAN で使用する際のセキュリティー設定について、お客様ご自身で対処できない場合には、お買い上げの販売店までお問い合わせください。
- セキュリティーの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティーに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

【送信機取り扱い時のお願い】

パソコンに接続した送信機本体を外すときは、ケーブルコネクター部分を持って外してください。



本体を持ってケーブルを引っ張ると負荷がかかり、故障の原因となります。



保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

修理を依頼されるとき

組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読みのうえ調べていただき、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

● **保証期間中は**

保証書の規定に従って出張修理をさせていただきます。

● **保証期間を過ぎているときは**

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

● **修理料金の仕組み**

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■ 保証書

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、
お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

■ 補修用性能部品の保有期間

パナソニック コネクト株式会社は、補修用性能部品を、
製造打ち切り後 5 年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるときご連絡いただきたい内容

ご氏名・ご住所・電話番号

製品名・品番・お買い上げ日

故障または異常の内容

訪問ご希望日

■ 使いかた・お手入れ・修理などは、
まず、お買い求め先へご相談ください。

■ その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック 業務用ディスプレイサポートセンター

電話 フリーダイヤル 携帯OK **0120-872-002**

※携帯電話からもご利用いただけます。

営業時間：月～金（祝日と弊社休業日を除く）
9:00～17:30（12:00～13:00は受付のみ）

ホームページからのお問い合わせは
https://panasonic.biz/cns/prodisplays/supportcenter/
ご使用の回線 (IP 電話やひかり電話など) によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック コネクト株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

仕様

■ 受信機

品　番	TY-WPR2
製品名	WPS 受信機
映像出力	HDMI × 1（HDCP2.2）
出力解像度	1920 x 1080/60p、3840 x 2160/60p（最大）
同時接続数	32
ワイヤレス通信規格	IEEE802.11b/g/a/n/ac/ax Bluetooth (GFSK, π /4-DQPSK, 8DPSK)
データレート ワイヤレス	2.4 Gbps（最大理論値）
周波数帯域	2.4 GHz 帯　2,400 MHz ～ 2,483.5 MHz 1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11/12/13 チャンネル 5 GHz 帯　5,150 MHz ～ 5,250 MHz 36/40/44/48 チャンネル 6 GHz 帯　5,945 MHz ～ 6,425 MHz 1/5/9/13/17/21/25/29/33/37/41/45/49/53/57/61/65/69/73/77/81/85/89/93 チャンネル
セキュリティー	WPA/WPA2/WPA3 （WPA3-Enterprise は非対応）
到達距離	5 GHz：最大 30 m、6 GHz：最大 20 m （見通しの良い電波条件の良いところ）

品　番	TY-WPR2
FUNCTION LED	※代表的な色と状態について以下に記載しています。 詳しくは取扱説明書（詳細編）をご確認ください。
白色点滅	ペアリング中
白色点灯	ペアリング完了
LAN 端子	RJ45 × 1 10BASE-T/100BASE-TX 対応
USB 端子	USB レセプタクル Type-A × 2
音声出力端子	ステレオミニジャック（φ 3.5 mm）× 1 0.25 V [rms]
電源	DC 5 V/2 A
外形寸法 （幅 × 高さ × 奥行）	156 mm × 26 mm × 97.5 mm （アンテナを含まない）
質量	約 270 g
動作使用条件	温度：0 ℃～ 35 ℃ 湿度：20 % ～ 80 %（結露のないこと）
保管条件	温度：-20 ℃～ 60 ℃ 湿度：20 % ～ 80 %（結露のないこと）

■ 送信機

品　番	TY-WPB2	TY-WPBC2
製品名	WPS 送信機	WPS USB-C 送信機
映像入力	HDMI × 1（HDCP1.4）	USB Type-C × 1 （HDCP1.4、 DisplayPort Alt Mode）
入力解像度	1920 x 1080/60p、3840 x 2160/30p（最大）	
ワイヤレス通信規格	IEEE802.11ac/ax Bluetooth (GFSK, π /4-DQPSK, 8DPSK)	
データレート ワイヤレス	1.2 Gbps（最大）	
周波数帯域	5 GHz 帯　5,150 MHz ～ 5,250 MHz 36/40/44/48 チャンネル 6 GHz 帯　5,945 MHz ～ 6,425 MHz 1/5/9/13/17/21/25/29/33/37/41/45/49/53/57/61/65/69/73/77/81/85/89/93 チャンネル	
セキュリティー	WPA2/WPA3（WPA3-Enterprise は非対応）	
到達距離	5 GHz：最大 30 m、6 GHz：最大 20 m （見通しの良い電波条件の良いところ）	
メイン LED	※代表的な色と状態について以下に記載しています。 詳しくは取扱説明書（詳細編）をご確認ください。	
白色点滅	待機中（入力信号なし）、ペアリング中	
白色点灯	待機中、ペアリング完了	
赤色点滅	接続中	
赤色点灯	操作不可	

品　番	TY-WPB2	TY-WPBC2
緑色点滅	映像表示中（入力信号なし）	
緑色点灯	映像表示中	
青色点滅	固定モード中（入力信号なし）	
青色点灯	固定モード中	
サブ LED		
緑色点灯	マルチ画面モード中	
電源	DC 5 V/0.9 A	
外形寸法 （幅 × 高さ × 奥行）	61.3 mm × 19.8 mm × 87.3 mm （ケーブルを含まない） 61.3 mm × 19.8 mm × 297.3 mm （ケーブルを含む）	61.3 mm × 19.8 mm × 87.3 mm （ケーブルを含まない） 61.3 mm × 19.8 mm × 192.3 mm （ケーブルを含む）
質量	約 130 g	約 100 g
動作使用条件	温度：0 ℃～ 35 ℃ 湿度：20 % ～ 80 %（結露のないこと）	
保管条件	温度：-20 ℃～ 60 ℃ 湿度：20 % ～ 80 %（結露のないこと）	

ソフトウェアライセンス

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

(1) パナソニック コネクト株式会社（パナソニック コネクト）が独自に開発したソフトウェア
(2) 第三者が保有しており、パナソニック コネクトにライセンスされたソフトウェア
(3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
(4) GNU LIBRARY GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (LGPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
(5) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア
(6) GPL V2.0、LGPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記 (3) ～ (6) に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。詳細は、本製品の Web 設定画面からの所定の操作によって [ソフトウェアライセンス] の選択により表示されるライセンス条件をご参照ください。

パナソニック コネクトは、本製品の発売から少なくとも３年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0、LGPL V2.0、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口：oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

商標について

- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴ は、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- USB Type-C および USB-C は USB Implementers Forum の商標または登録商標です。
- PressIT はパナソニック ホールディングス株式会社の商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

■ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内のみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

パナソニック コネクト株式会社
〒 571-8503　大阪府門真市松葉町 2 番 15 号
© Panasonic Connect Co., Ltd. 2024

日本語